

令和 8 年度
広報・広聴に関する市民アンケート
結果報告書

令和 8 年 9 月
南相馬市

目次

1. 調査の概要	1
2. 回答者の属性	2
3. 調査結果	3
(1) 通信機器利用率について	3
(2) 広報紙「みなみそうま」について	4
(3) ホームページについて	8
(4) 市公式 LINE について	9
(5) 市公式 YouTube について	10
(6) 広報活動について	11
(7) 広聴について	13
(8) そのほか自由意見	16

1. 調査の概要

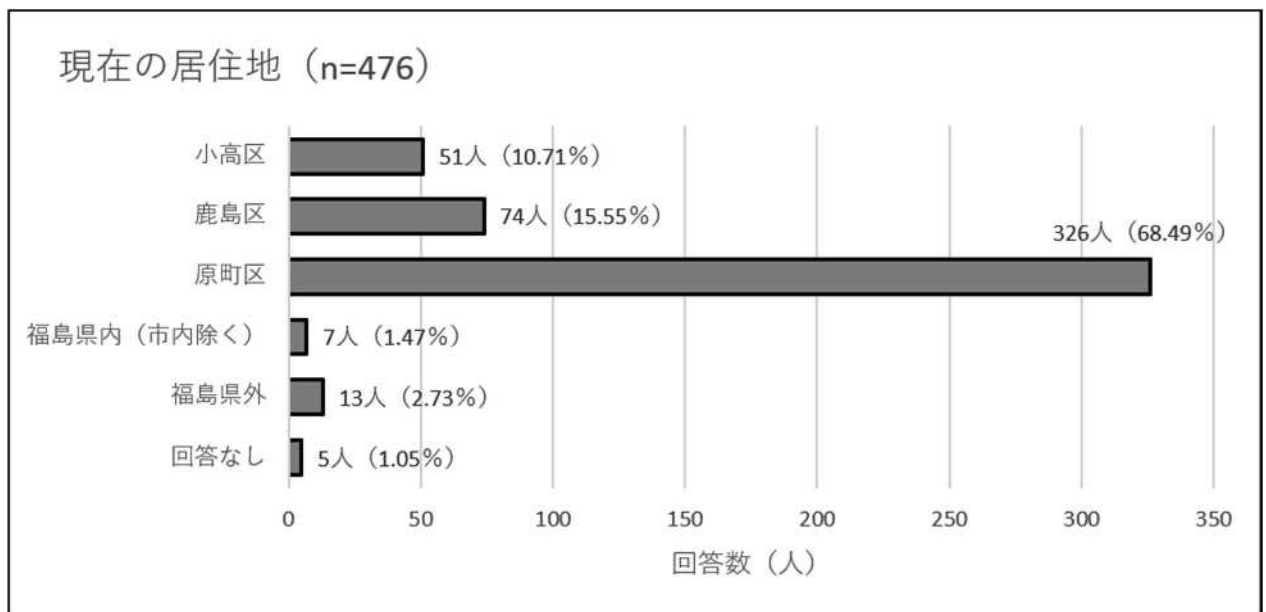
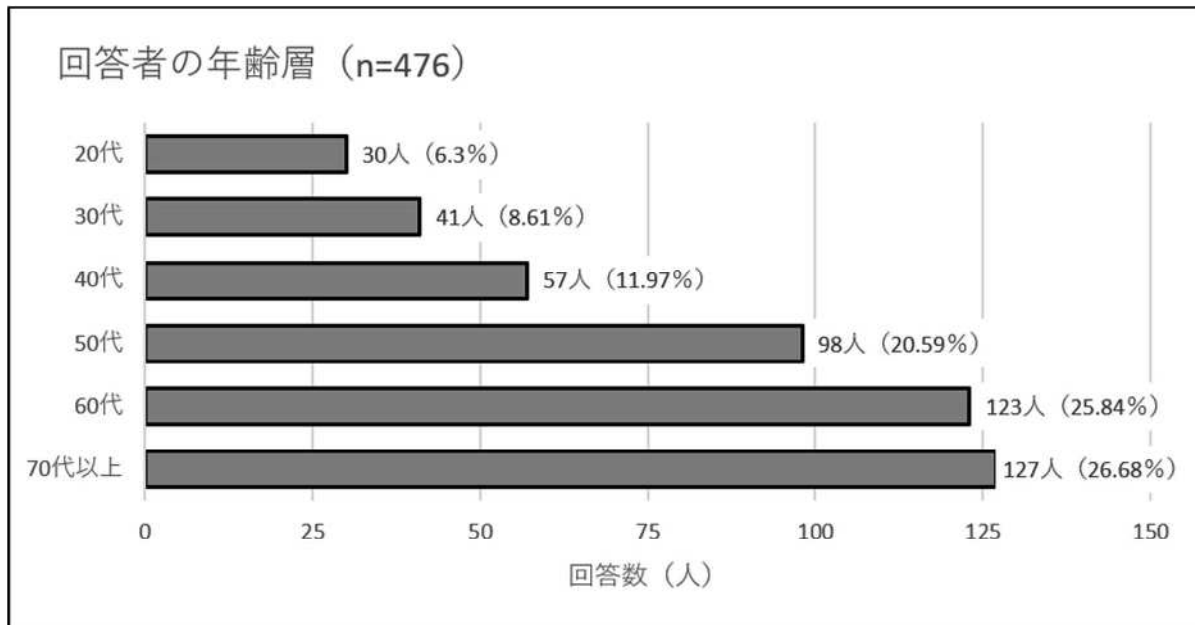
項目	内容
目的	市の広報（情報発信）・広聴（意見収集）に関する取組の利用状況や評価、意見を把握し、今後の改善に活用する。
期間	令和8年6月1日～6月24日
方法	①市民1,200名を無作為抽出し、案内送付 ②全市民を対象にしたインターネットでのアンケートフォームからの回答（ウェブアンケート）※広報紙、市公式 SNS での周知
回答者数	①420 人 ② 56 人 合計 476 名
設問数	42 問（属性に関する設問、各媒体の利用状況・満足度に関する設問、自由記述を含む）

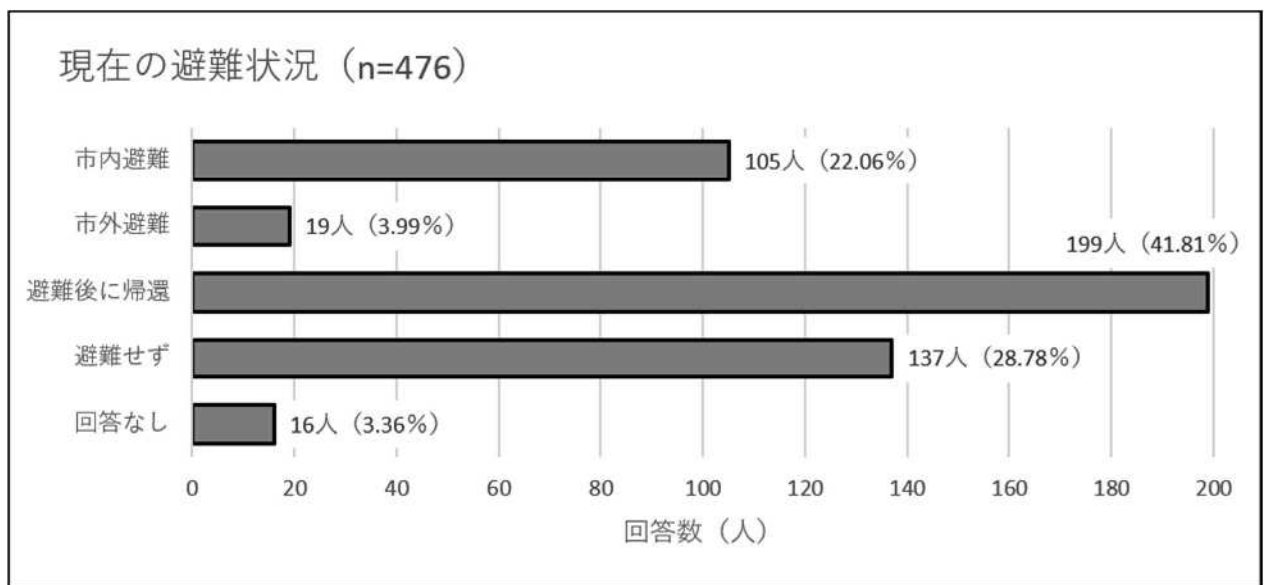
※本アンケートにおける人口は、住民基本台帳を基とした20歳以上住民の人口を示している。

※すべて小数点第3位を四捨五入した結果のため、集計結果の合計が100%にならないことがある。

※複数回答可の設問では、合計が100%を超える場合がある。

2. 回答者の属性

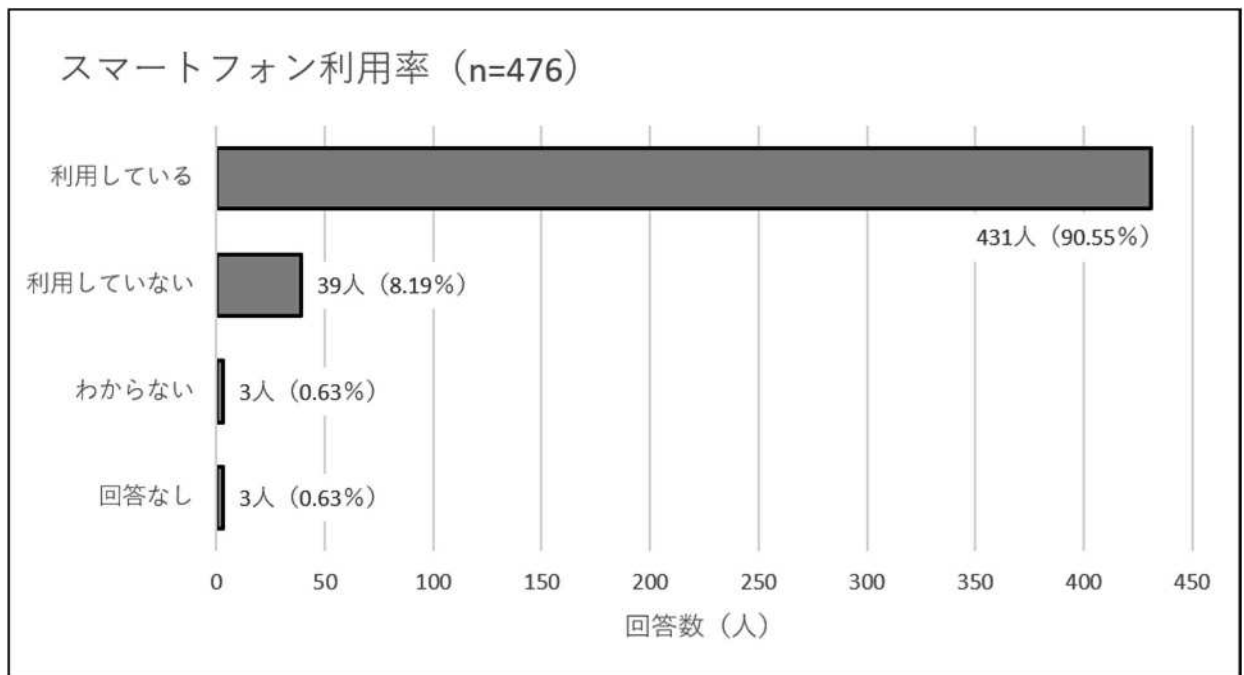


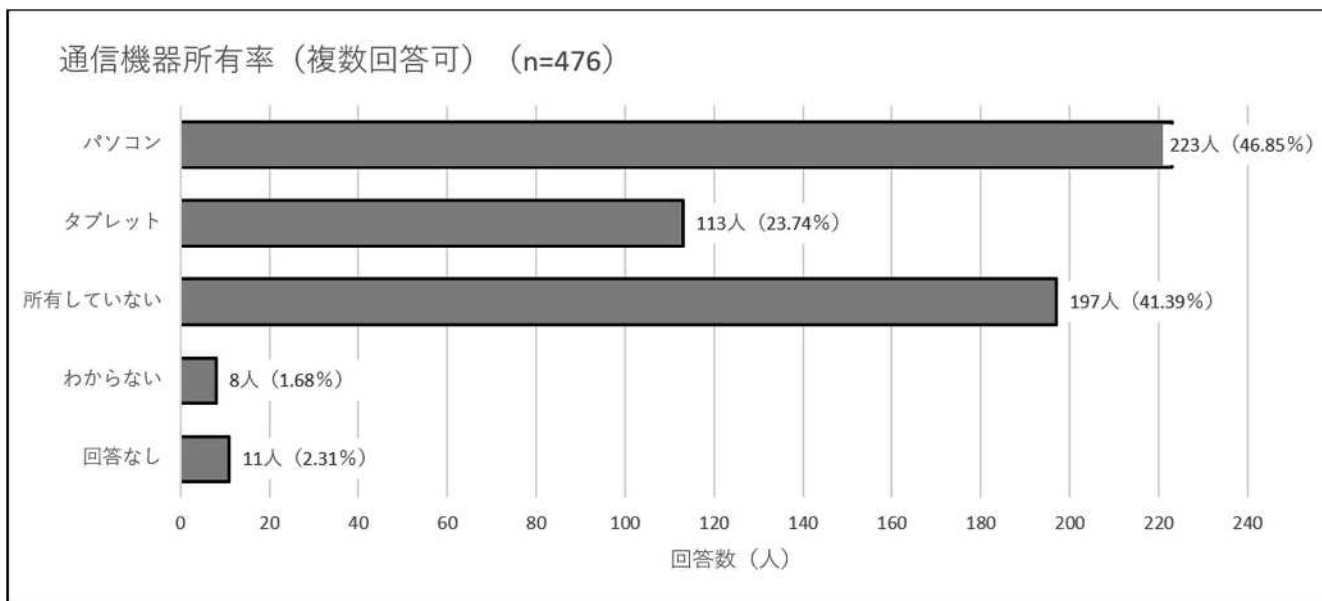


3. 調査結果

（1）通信機器利用率について

9 割を超える回答者が「日常的にスマートフォンを利用している」と回答しており、約 4 割の人がスマートフォン以外の機器を保有していませんでした。

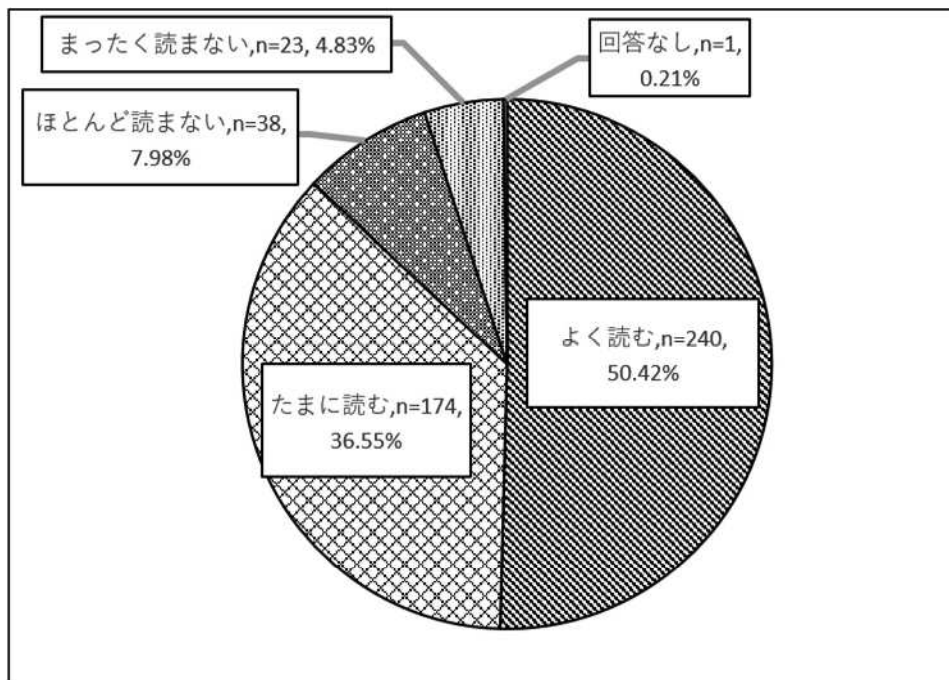


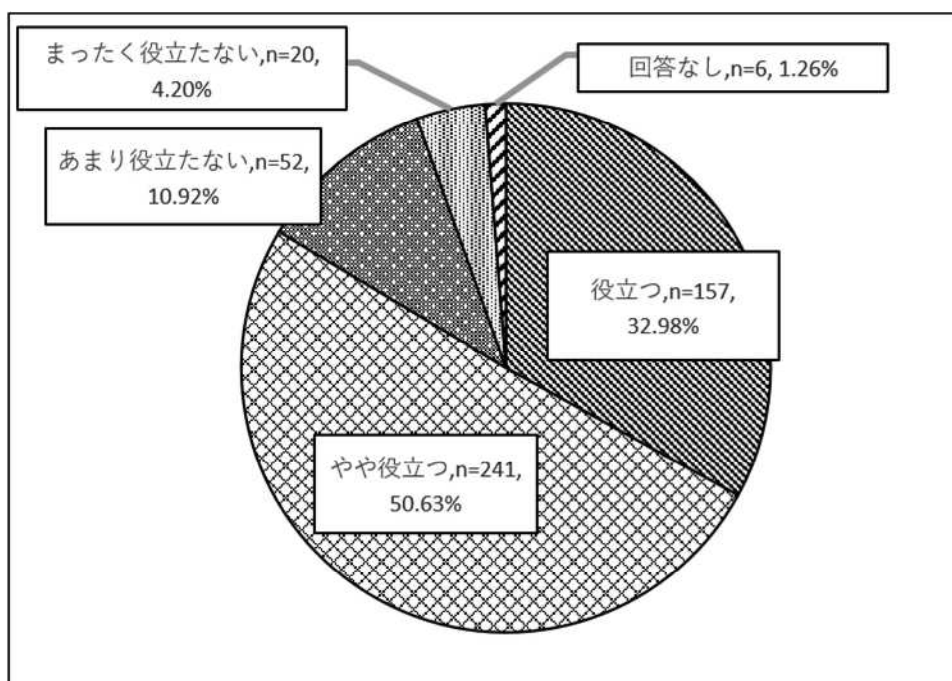


（２）広報紙「みなみそうま」について

閲読状況と役立ち度

広報紙を「よく読む」「たまに読む」と回答した人は合わせて８割強にのぼり、広報紙は市民に広く読まれていることが分かりました。役立ち度についても「役立つ」「やや役立つ」が８割を占め、多くの回答者が広報紙を有用な情報源と捉えています。一方で「あまり役立たない」「まったく役立たない」も一定数見受けられました。

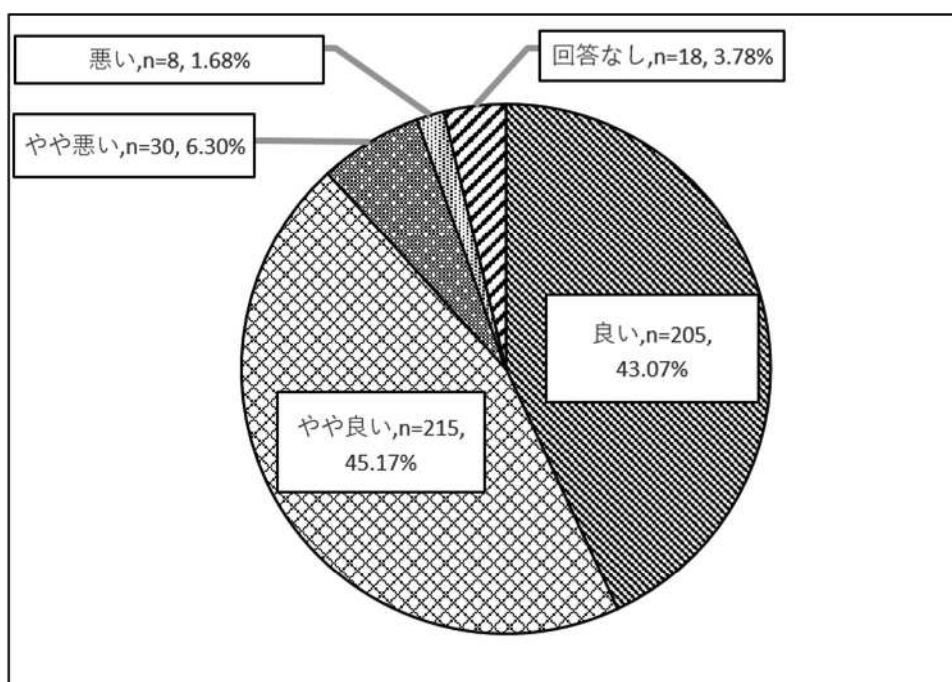




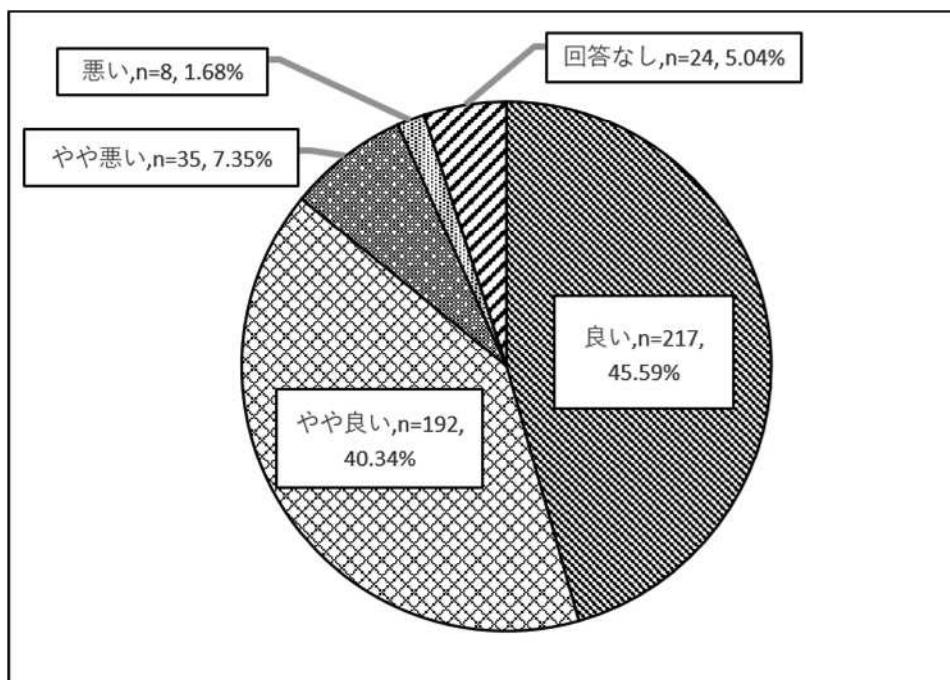
あまり役に立たない、まったく役に立たないと回答があった理由について、「興味のある情報がない」が最も多く、「広報紙が届かない」「必要な情報がない」が続きました。具体的な内容としては、市のイベント情報や生活に役立つ情報、特集記事の充実を求める意見などが挙げられました。

評価やよく読まれるコーナー

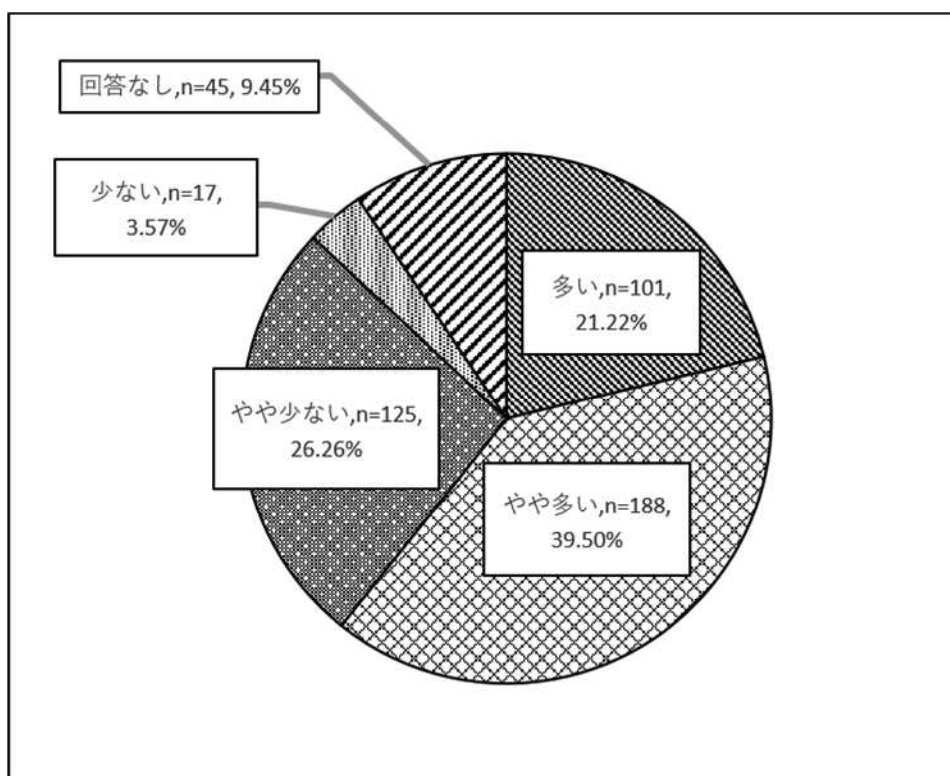
①読みやすさ



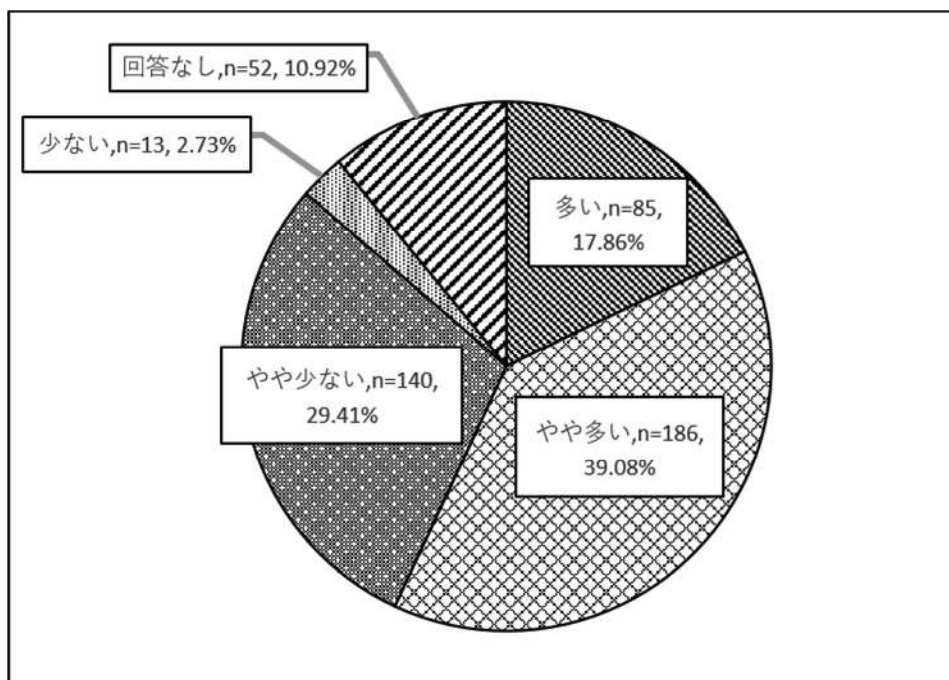
②見やすさ



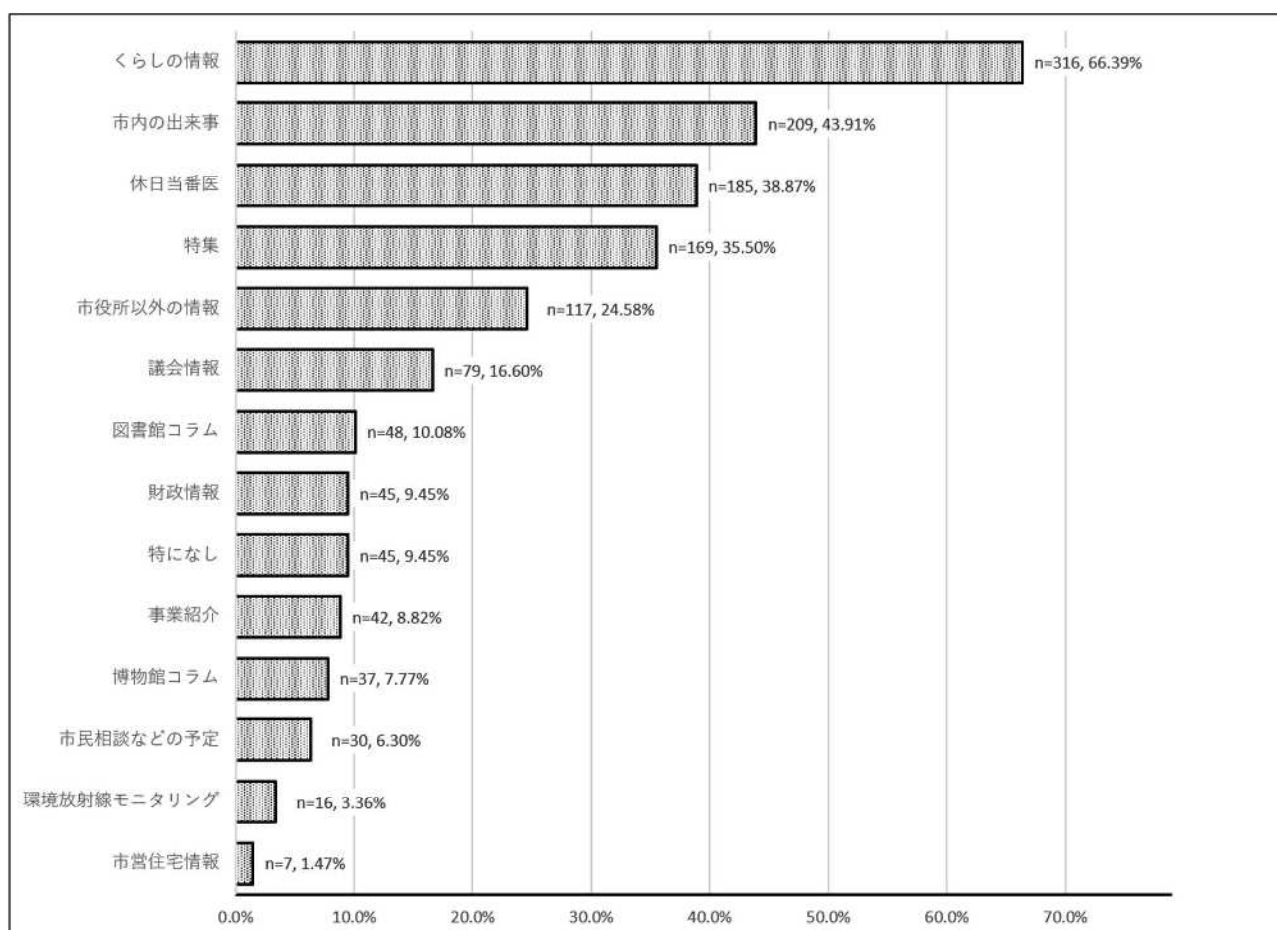
③掲載量



④ページ数



よく読むコーナー



広報紙への感想・要望

自由記述での感想や要望では、次のような意見が見られました。

・市内のイベント、地区の祭りや伝統文化、子育て・子ども向けイベントなど、生活に近い情報をもっと知りたいという要望が多数見られました。

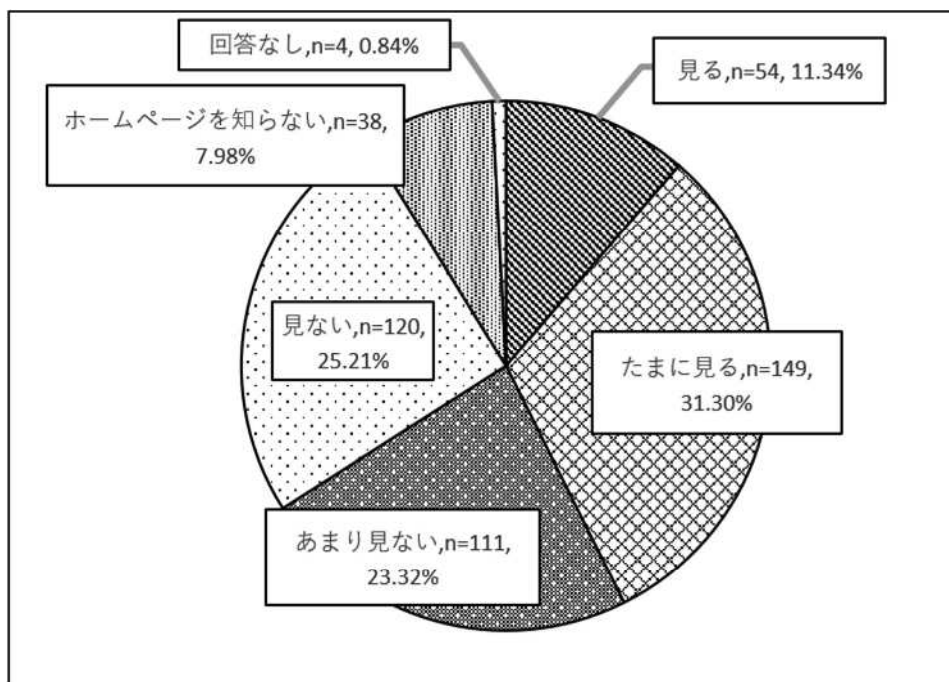
—子育て情報を増やしてほしい。お得情報やイベント情報など分かりやすく知ることの出来るコーナーがほしい。—（一部抜粋）

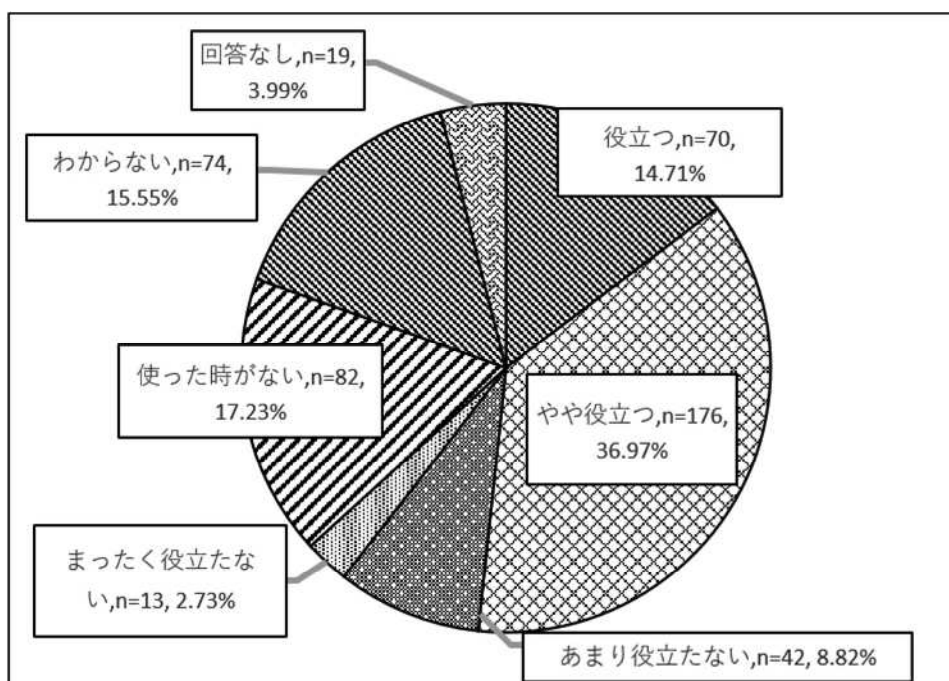
・市内の企業やお店、市の歴史についての情報を知りたいという要望も一定数見受けられました。

—市内の企業紹介。南相馬市内のお店の情報。まちの歴史について—（一部抜粋）

（３）ホームページについて

市のホームページを「見る」「たまに見る」と回答した人は約４割でした。役立ち度は「役立つ」「やや役立つ」が約５割を占め、広報紙に比べ利用率は低く、ホームページ自体を知らない、使った時がないという回答も見受けられました。

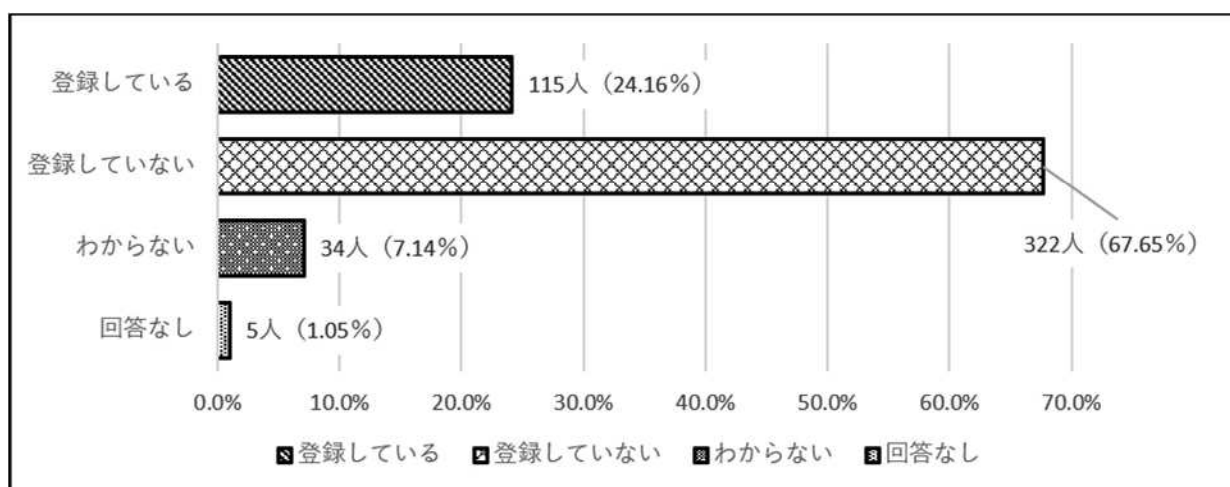




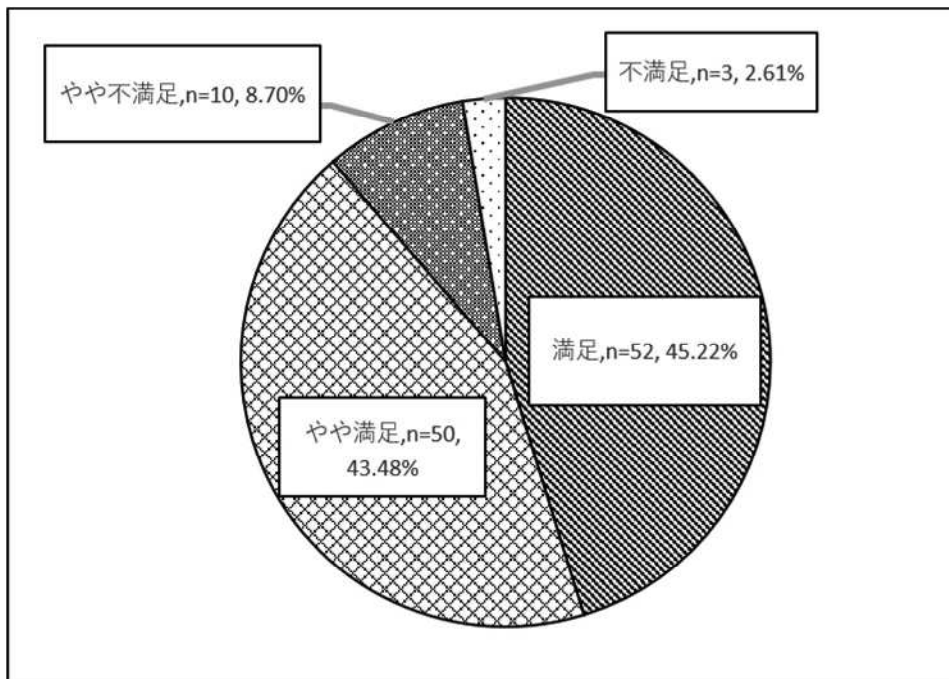
使った時がない、あまり役に立たない、まったく役に立たないと回答があった理由について、「機会がない」が最も多く、「利用方法がわからない」「興味がない」が続きました。具体的な内容としては、広報紙で情報収集ができていることや主にパソコンなどの通信機器を所有していないことなどからホームページを使用する機会がないという意見が寄せられました。

(4) 市公式 LINE について

市公式 LINE の友達登録率は約 2 割と低く、普及されていないことが分かりました。登録者に限定した満足度は「満足」「やや満足」が 9 割を超え、高い評価が得られました。一方で「やや不満足」「不満足」もあり、改善余地も見られます。

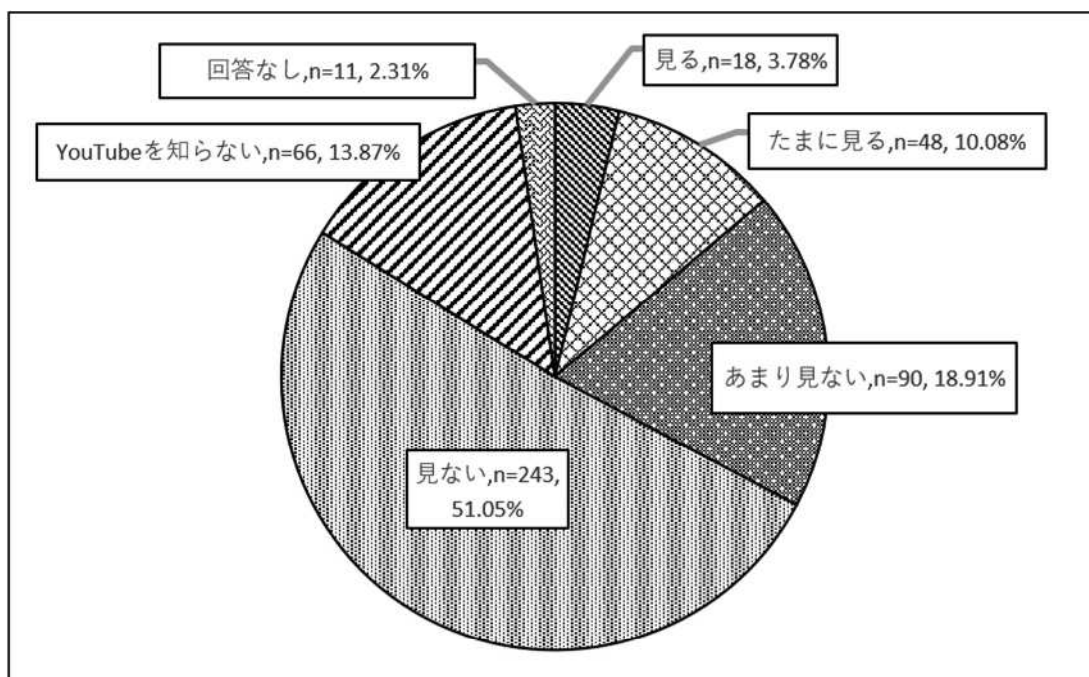


登録をしていない理由について、「興味がない」が最も多く、「利用方法がわからない」「LINE を使用していない」が続きました。具体的な内容としては、市公式 LINE の存在を知らないといった意見が多数寄せられ、市公式 LINE の普及活動への取り組みの改善余地が見られました。

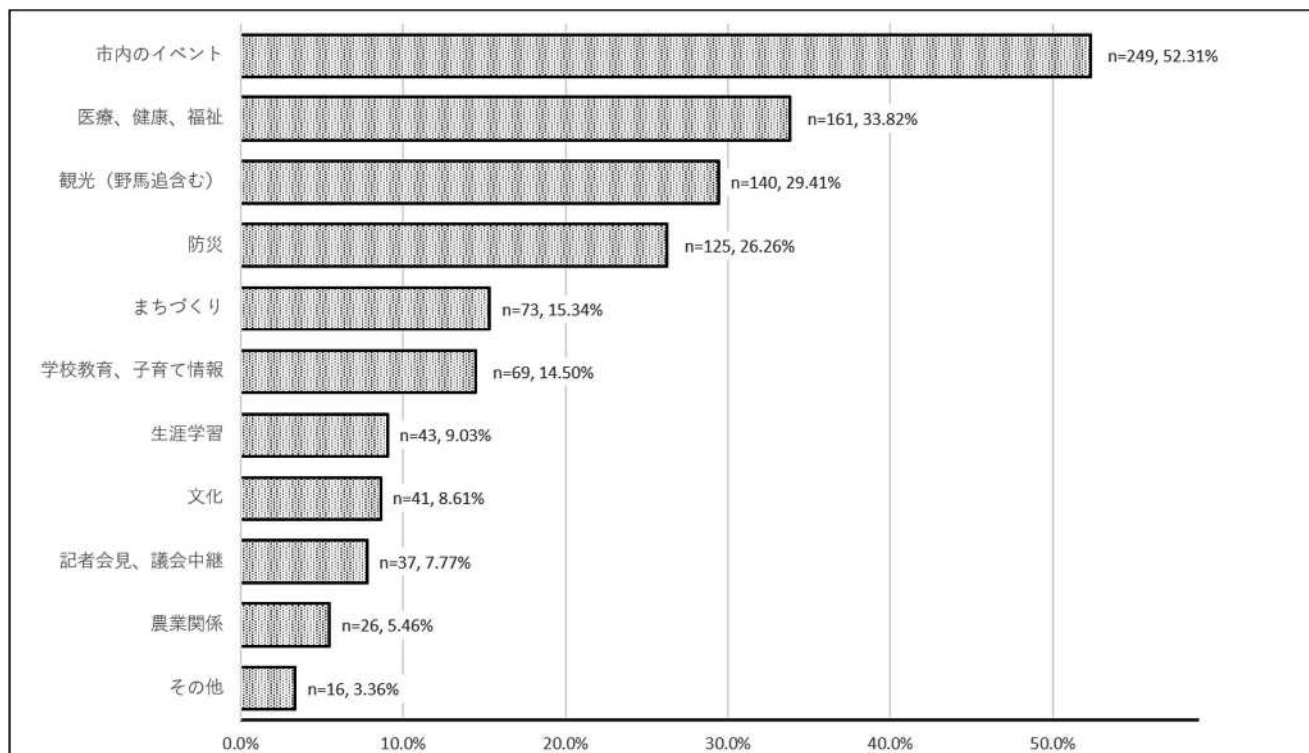


(5) 市公式 YouTube について

市公式 YouTube を「見る」「たまに見る」と回答した人は1割弱にとどまり、広報紙・ホームページに比べると利用率は低い状況です。



配信を希望するコンテンツは「市内イベント」が最も多く、「医療、健康、福祉」、「観光（野馬追含む）」、「防災」が続きました。地域行事、地域での生活に身近な情報や、安全に関する情報への関心の高さがうかがえます。一方、自由記述では「みなみそうまチャンネルは再放送が多い」「イベントから放送まで時間がかかる」といった、配信のタイムリーさに関する意見も見られました。

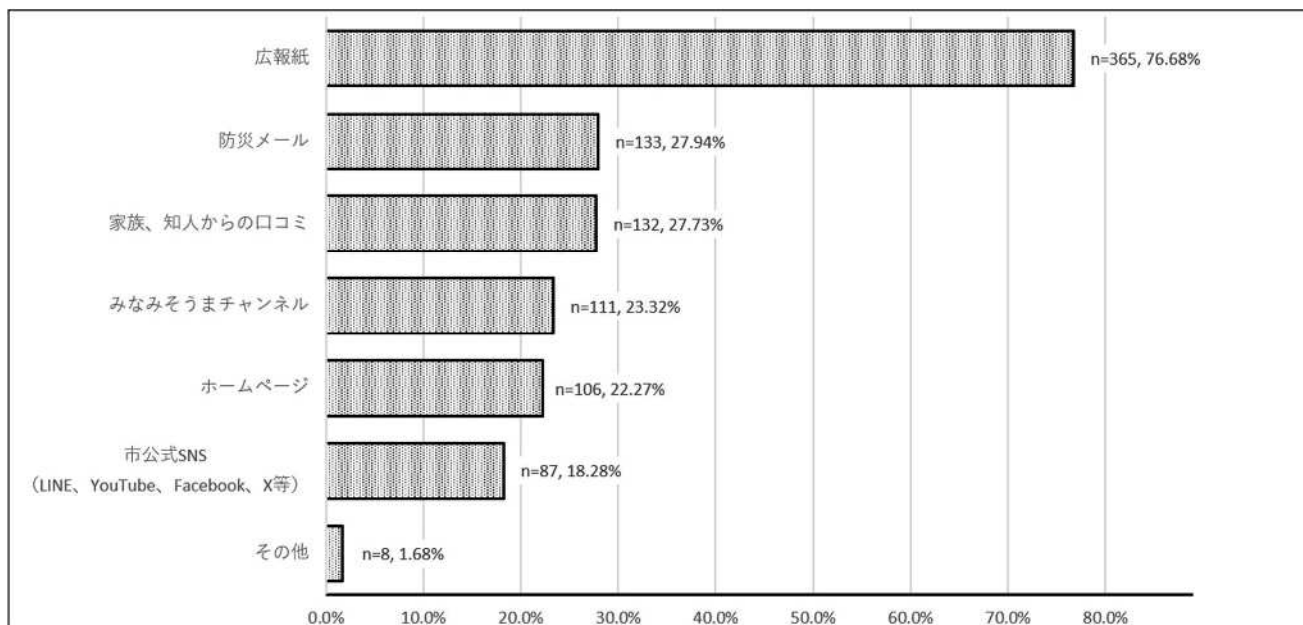


（６）広報活動について

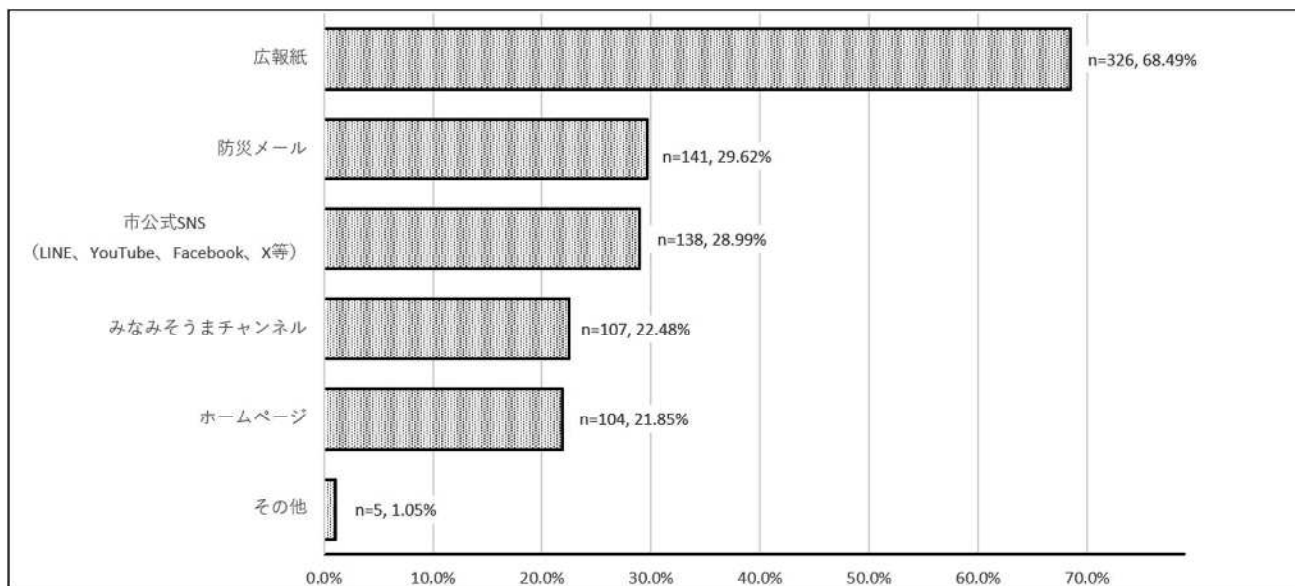
現在利用している情報収集手段は「広報紙」が最多で、「防災メール」、「家族、知人からの口コミ」が続きました。ホームページ、市公式 SNS の利用率の低さがうかがえます。一方、今後受け取りたい手段としては「市公式 SNS」が「防災メール」と同水準の回答数を得ており SNS を中心とした情報発信への期待の高まりがうかがえます。

情報発信の満足度については、「満足」「やや満足」が 7 割強を占め、総じて好意的に評価されています。理由としては「知りたい時に情報を得られる」「複数の媒体で必要な情報が網羅されている」といった声のほか、「媒体ごとに満足度が異なる」「発信側が伝えたい内容と、受け手が知りたい内容にズレがある」といった意見も見られました。

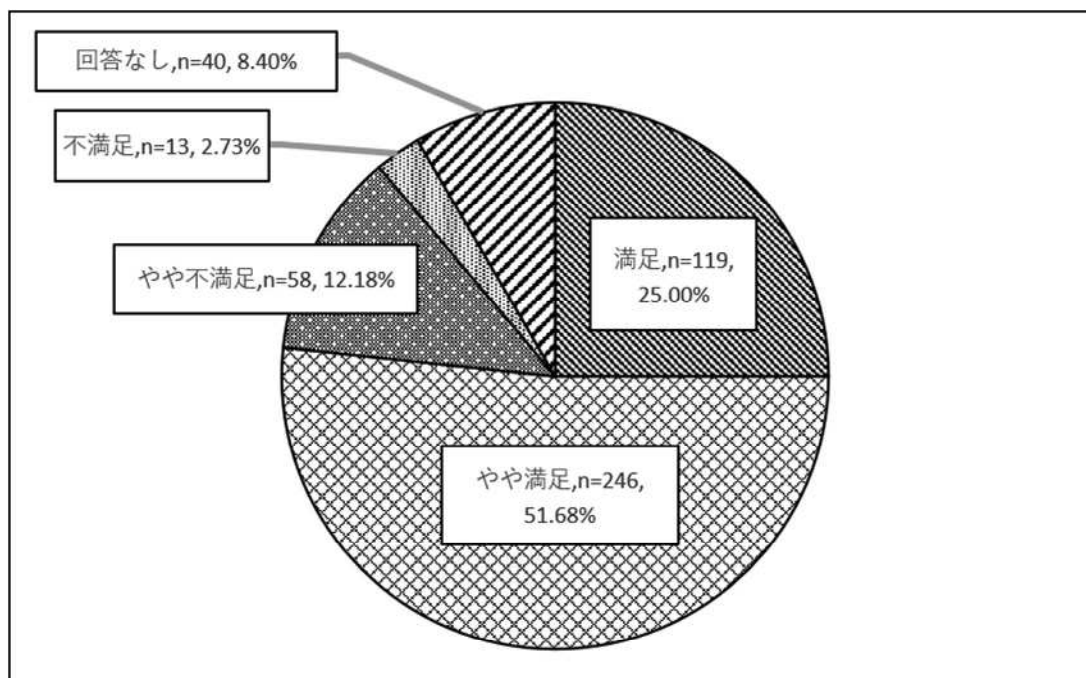
情報収集の手段（複数選択可）



今後どのような情報収集手段を希望するか（最大2つまで）



情報発信への満足度



情報発信への満足度の理由として寄せられた自由記述には、次のような意見がありました。

- ・ 知りたい情報を広報紙や SNS で取得できており、十分であると感じている意見が多く寄せられました。満足度が高い回答をした方には LINE を活用している方が多い傾向にありました。

—LINE も防災メールも届くのでありがたい。広報誌でどんな事などがあるか分かる。多方面の情報を受け取れる。—（一部抜粋）

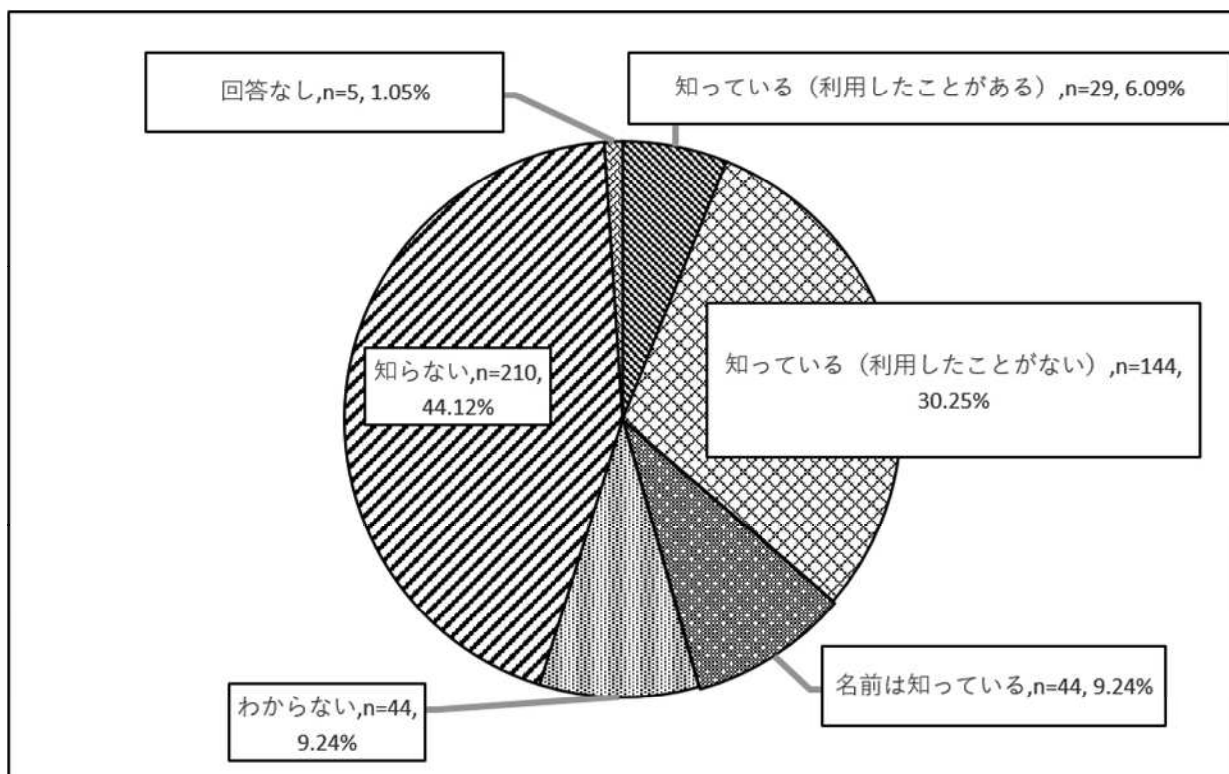
- ・ やや不満足、不満足の意見としては、興味を持てるような内容がない、知りたい情報が載っていないなど内容の充実を求める意見があげられました。

—ワクワクするような情報がない。現役世代に向けた内容を増やして欲しい。—（一部抜粋）

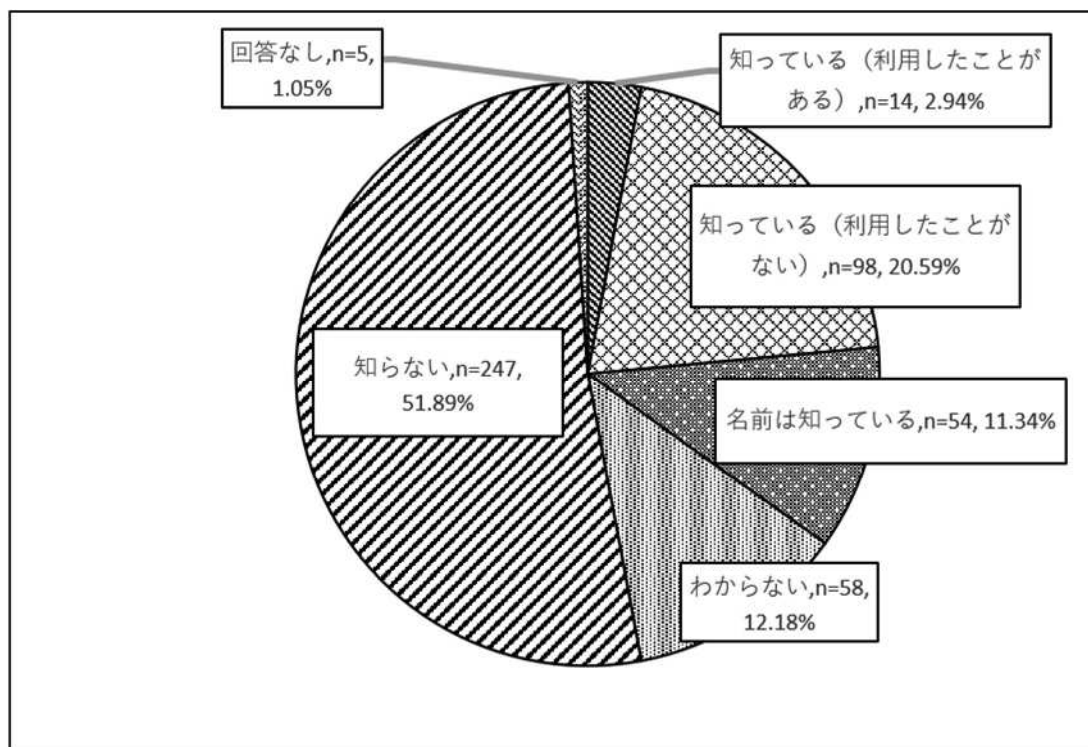
（７）広聴について

「市長への手紙」「ふれあい懇談会」「パブリックコメント」の認知度を尋ねたところ、いずれも「知っている」（利用経験の有無を問わず）との回答が 3～4 割を占めましたが、「利用したことがある」との回答は「市長への手紙」で 1 割に満たず、「ふれあい懇談会」「パブリックコメント」でもさらに少ない結果となりました。半数以上が制度を知らず、また、制度を知っていたとしても、実際の利用には結びついていない状況がうかがえ、制度内容や利用方法などの周知に改善余地が見られました。

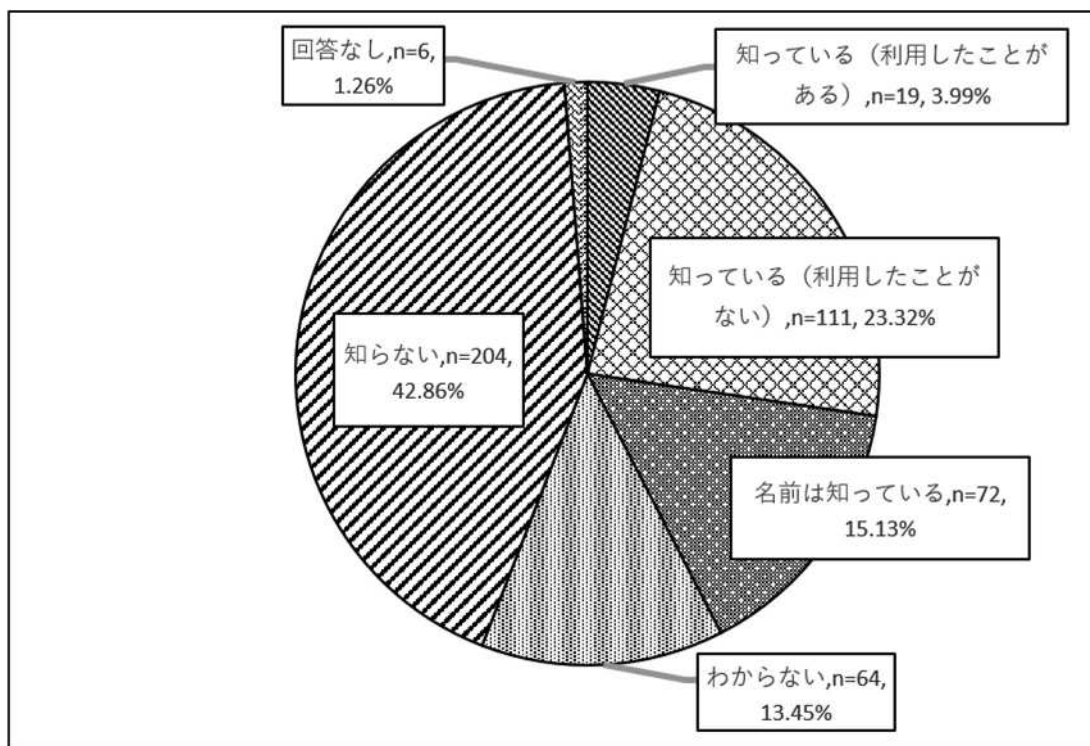
①市長への手紙認知度



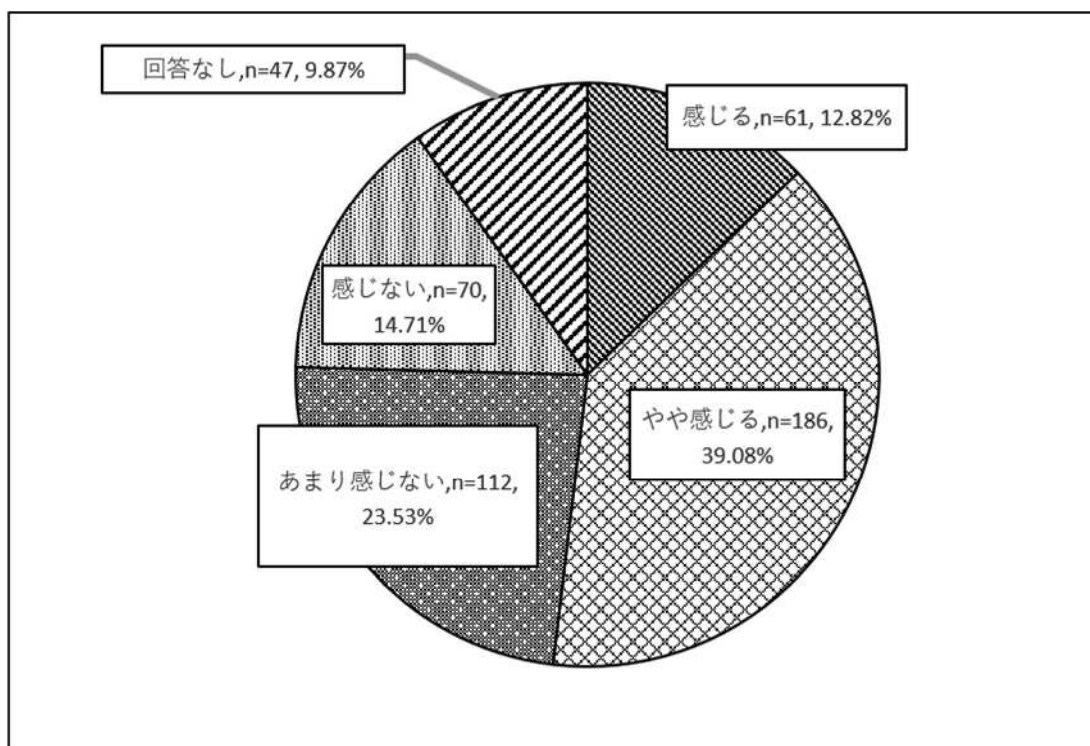
②ふれあい懇談会認知度



③パブリックコメント認知度



市長からの意見収集が十分だと感じるか



あまり感じない、感じないと回答があった方に限定した、情報収集の方法への意見としては、制度の認知度向上に向けた取り組みへの意見が多数寄せられ、また、形式的で距離感を感じているという意見も寄せられ、認知度や利用率が低かった結果が反映された結果となりました。認知度向上に向けた取り組みやより住民に寄り添った周知方法の改善余地が見られます。

（８）そのほか自由意見

広報・広聴事業全般について寄せられた自由記述には、日頃の取組への感謝の声とともに、次のような意見がありました。

・広報紙について、高齢者やデジタル機器の利用が難しい市民への情報保障の観点から、紙媒体の継続を求める意見が複数寄せられました。一方、ペーパーレス化や配布負担の軽減、経費削減等の観点から、紙媒体の縮小・配布方法の見直しを求める意見も寄せられました。

・LINE や SNS 等のデジタル媒体を活用した情報発信の充実を求める意見、特に若者や子育て世代に届きやすい情報発信を求める意見が複数見られました。

・広報紙の内容について、表紙や写真、記事内容の工夫、年代・目的別の情報整理、イベント情報の一元化など、より「読みやすく、必要な情報を探しやすい」広報を求める意見が寄せられました。

・防災無線やクマの出没情報などについては、情報の受信性や迅速性の向上を求める声があり、緊急性の高い情報については、より確実かつリアルタイムな情報発信を求める傾向が見られました。

・広聴については、制度自体を知らなかった、意見をどのように伝えればよいかわからないといった声があり、市民がより気軽に意見を伝えられる仕組みや、意見を受けた後の対応・進捗を分かりやすく知らせることを求める意見も見られました。